

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

| | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------|
| □新しい公共の場づくりのためのモデル事業採択される1P | □こども支援者のためのABC講座 ..2P | □NPO職員リレー2P |
| | □職場体験記 中学2年生がワンデイシェフに！2P | □北海道研修 報告3P |
| | □会員団体紹介2P | □インフォメーション4P |

新しい公共の場づくりのためのモデル事業採択される

愛知県の新しい公共の場づくりのためのモデル事業として、県健康福祉部医療計画課が提案した「新しい支え合いの仕組みづくりのための協議の場事業」が採択され、サポートちたが受託事業として取り組むことになりました。また、新しい公共の場づくりのためのモデル事業の市町村枠では、18提案のうち7事業が採択されています。その中で、知多市提案の「一人暮らしになっても安心して暮らせる地域づくり事業」が採択され、だいこんの花が受託事業として取り組みます。そして、一宮市が提案した「P.A.C.いちのみや(パブリックアクセスチャンネル)」も採択され、個人会員の星野さんが代表を務める138NPO～一宮の市民活動育ちあいネット～が受託しています。

そもそも「新しい公共」とは何でしょうか。平成22年6月4日鳩山政権時に出された「新しい公共」宣言のはじめに書かれている「人々の支え合いと活気ある社会。それをつくることに向けたさまざまな当事者の自発的な協働の場」とあります。また、「古くからの日本の地域や民間の中にあつたが、今や失われつつある「公共」を現代にふさわしい形で再編成し、人や地域の絆を作り直すことにほかならない」とも。

そんな中、「新しい支え合いの仕組みづくりのための協議の場開催事業」は、多世代の居場所づくり、多世代が地域の支え手となる取り組みと、子どもと若者と共に育ち合い、支え合うことのできる地域づくりを目指し、知多地域版協働ロードマップ作成を通じて、県内他地域への波及、関係NPO等の活動基盤強化・人材育成を進めます。また、「一人暮らしになっても安心して暮らせる地域づくり事業」は、高齢者、障がい者の地域包括ケアの拠点となる共生の場(居場所)のモデル地域の住民参加によるワークショップと、関係機関による協議の場づくりを行い、共生の場(居場所)設立後、施設

の機能が効果的に活かされていくことを目指します。そして、「P.A.C.いちのみや」は、市民(とくに大学生など)の手によるチャンネルをケーブルテレビに立ち上げ、地元NPO活動の広報をします。NPOの活動報告や説明責任を迫りつつ、取材を通じて現場と関わりながら若者の成長を促し、継続的に関わる人材育成を目指しています。いずれの事業も、今抱える課題を地域密着で話し合い、いろいろな人との関わりの中から知恵を絞り、新たな取り組みを生み出すための、当事者による自発的な協働の場づくりです。

特定非営利活動促進法の改正により、今年度3分野が追加されました。さらに、認定NPO法人の要件が緩和され、国税庁から認証都道府県へと認定機関が移管されます。税法からNPO法への移行です。

相続や寄付は目の前のお世話になっている人や団体へと志のある使い方をしたい。また、一般財団法人や一般社団法人といった新公益法人の設立も急速に進みつつあります。公益を自分たちで考え、活動を創り出し、資金循環も併せて地域で行っていく、変革の時期の到来です。(市野)

☆。☆。早分かり！認定NPO法人講座☆。☆。

9月15日(木) 14:00～16:00

個別相談は16:00～17:00

知多市市民活動センター2階会議室

参加費 2,000円/人

講師 中尾さゆり氏

(NPO法人ボランティアネイバーズ相談事業部長)

税金の基礎知識から認定NPO法人申請事前チェックシートによる個別相談までお答えします。

お問合せは、サポートちた 市野まで

こども支援者のためのABC講座

学校教育に携わる人のための現代っ子理解講座が、7月26日より11日間にわたって開催された。こども支援NPO現場見学バスツアーや事例検討を組み入れ、昨年に比べより現場に踏み込んだ内容で、受講必須の阿久比町の支援員のほかに、市町の生活支援員や学校に係る方も含め、延べ191人の参加となった。

初日に阿久比町教育委員会より生活支援員の役割について説明を受け、子ども支援に取り組むNPOをはじめ、スクールカウンセラーや言語聴覚士など各分野の専門士による子どもの多様性に対応する方法を学習した。受講した名古屋短期大学の学生は、「実際に活動や現場を体験することで自分自身に身につけたい。」とし、支援員をはじめ周りの多くの人たちの理解の必要性を訴えた。(竹内)



支援者の自信につながる情報交換の場

職場体験記 中学2年生がワンデイシェフに！

平成18年度より始まった「あいち・出会いと体験の道場」は、中学生に社会の成り立ちについての理解や働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど社会性を身につけてもらうことを目的に学校と連携して行っている。

Ada-codalは当初より受入れており、今回が8回目となる。ワンデイシェフによる営業体験は初回に続き2回目。広報やメニューをはじめ、買出し等2日間を準備に費やし、3日目の8月8日に開店した。用意した25食はあっという間に完売した。人に伝える広報の難しさ、また大量のたまねぎのみじん切りや洗い物の皿との格闘や原価計算などの裏方も経験。すべてをやり遂げた疲労感と達成感が、彼女たちをひとつとつ成長させた。(海老原・江端)



屋号は「侑涼ですね。」女子3人、大好きなジャニーズのメンバーのレシピを基にチーズ入りハンバーグ、コーンスープ、サラダ、ゼリーを作りました。

すべてをやり遂げた疲労感と達成感が、彼女たちをひとつとつ成長させた。(海老原・江端)

☆会員団体紹介☆

NPO法人志民連いちのみや

志民連いちのみやは、一宮市に軸足を置き、まつりづくりと中間支援を通じて志民を育てる活動をしている。同時に、com-café（コミュニティ・カフェ）“三八屋”を運営し、今年5月からは『一宮ブルワリー』で地ビールを作っている。



カクテルのように飲みやすいと、女性にも大人気！！

NPOがビール作り?!
かつて一宮にあった尾張ブルワリーを復活させ、当時の醸造責任者がその伝統を引き継いでいる。地ビールという地域の資源をつくり、まちを活性化し、一宮の文化を伝えたいと代表の星野さんは語る。ビールは、【エール】【スタウト】【ヴァイツェン】の3種類。com-café “三八屋”には、毎晩おいしいビールと楽しい仲間に出会えるとたくさんの人が集う。

「様々な個人・団体が、各々自立して自主的に活動している。それらたくさんの主体がゆるやかな関係でつながっているような、多極性をもった地域基盤をつくりたい」と、未来の一宮を熱く語ってくれた。(江ノ上)

NPO担当職員リレー

岩倉市総務部企画財政課 主事 宇佐見信仁 氏



「きっかけは地元への貢献と言えば大げさですが、恩返し、とにかく直接喜んでもらえる仕事をしたいと思った。」と、入庁のきっかけを笑顔で答える。平成12年の入庁直ぐに財政、次に水道課へと、机上業務が続く。その後企画担当となり総合計画にも携わった。今年4月からNPO担当として人と人のつながりに奔走する。「生まれも育ちも岩倉といえども知りうる範囲は狭い。担当になって多くの知り合いができた。」地元を実感しているようだ。

岩倉市は平成22年3月、本格的なNPO拠点として公民館を改修し、市民活動支援センターを開設した。センターはパソコンの実務経験を生かした方々が中心となって、情報発信力を武器に活動するNPO法人が委託で管理をしている。現場の声が大事と思うからこそ何度も足が向かう。彼の名刺には岩倉の風物詩“のんぼりあらい”が描かれており、穏やかな人柄を表している。(市野)

23年度サポートちたリーダー研修in北海道 高齢者の自立を支える「住まい」と「居場所」が 「多世代が支え合うしくみ」をつくる

リーダー研修で、8月27,28,29日の3日間、北海道胆振(イブリ)地域を訪問した。

今回の目的は、「共生型居場所」と「高齢者の住まい」。グループリビングに住まう高齢者が、自治会費を活用して、子どもが集まる駄菓子屋を開店したと聞いて登別市を中心に訪れた。

1日目は白老町の山菜料理の店“グランマ”を訪問。ここは平均年齢70歳以上の女性たちが運営する地産地消のレストラン。



白老町のグランマ。駅前商店街の空き店舗を活用。

代表の赤崎さんは80歳。この日も地元で獲れた鱈のフライや山菜

御飯、筍やふきなど、家庭の味にこだわった料理をおいしく食べることができた。

オープンきっかけは白老町の3人に1人が高齢者という高齢化の進行、中心商店街の衰退を何とかしたいという想い、また高齢になっても若い人に頼らず元気で働きたいという想いから。はっぱビジネスで有名な上勝町の「株式会社いどり」を視察。その後3カ月で立ち上げた。やがて男性たちも野草茶の原料になる野草を採りに行く活動を始め“グランバ”と呼ばれている。「新しい公共支援事業」もゲットし、第2第3のグランマを作っていく予定である。

2日目は“だて地域生活支援センター”を訪問した。伊達市は、人口3万7千人に480人を超える障がい者が生活している。グループホーム、ケアホーム、民間のアパートなど100以上の支援拠点に住み、一般企業への就労も進んでいる。特にクリーニング店では、何人もの障がい者が、温泉旅館で出された山のようなシーツ、タオル、寝巻きを手際よくさばっている映像を見せてもらった。このほか、果樹園で農業に従事する障がい者も多い。知多半島では空き家を利用してケアホーム



だて地域生活支援センターの菊池さんと一緒に

にしていることが多いが、伊達市では地主からケアホー

ムを作るので生活しないかと声をかけてもらうこともあり、伊達市の住民が障がい者を地域で普通に受け入れ、共に生活できていることが伺われた。



NPO法人いぶりたすけ愛のグループリビングたすけ愛の家

3日目は登別市の“NPO法人いぶりたす

け愛”を訪問。グループリビング“たすけ愛の家”と共生型福祉施設“ともかな”を見学した。

グループリビングでは9人の高齢者が自立して生活していた。木造2階建ての建物で、全室個室の各部屋には洗面台、ミニキッチン、クローゼット等がついていた。朝食は各自で自由に食べ、昼食、夕食はボランティアによる食事を皆で食べている。日中はサロンでカラオケや絵手紙、短歌、囲碁など自由に参加し、デイサービス



社会起業家集団が運営する「共生型居場所」ともかな

に出でいく人もいて自由に生活する。入居者はみんな「とても暮らしやすく幸せだ」と言っていた。必要経費は月16万円。

“ともかな”は社会に貢献したいと考える高齢者や障がい

者がともに夢をかなえるために、自分の知識や特技を活かして、事業や活動を展開する社会起業家集団で、高齢者から、子ども、子育て中のお母さん、障がいのある人などがくつろげる「地域の居場所」を目指している。Ada-codaのようなワンディシェフのカフェに手作り工房と駄菓子屋、子育て広場を併設している。

この後いぶりたすけあい星川理事長の案内で、町内会連合会から立ちあがったNPO法人ゆめみーの運営する「地域食堂」を訪れた。配食では、安否確認で何かあれば親族に電話するようなことにも対応。朝市、子育てサロン、高齢者サロン、学童などに拡大しつつ、10月からは学校の空き教室を使った放課後児童クラブの運営も受託するという。

高齢者の自立を支える住まいや居場所があれば、地域の「多世代が支え合うしくみ」につながることを改めて確認した研修であった。(竹内・岡本)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

東日本大震災物資支援報告

「あいち・なごや東日本大震災ボランティア支援連絡会」を通じ、NPO法人もやい様より新品の学用品12セットが、7月末日に茨城県ひたちなか市西十三奉行民間防災茨城事務局に届けられました。

■補助事業「Ring! Ring! プロジェクト」募集要項

対象事業：社会福祉の増進[児童・高齢者・障害者・車両整備等福祉活動] 実施期間：H24.4/1～H25.3/31完了 対象者：NPO法人等公共的な法人 補助金額は対象事業により異なるが、補助率 3/4 まで 申請受付：9/30(金)17時必着(9/29 正午までに会員登録の必要有) 方法：<http://ringring-keirin.jp> から申請、又はHPより書類等をダウンロードし、郵送可 問合せ先：財団法人JKA補助事業グループ 公益・福祉振興チーム FAX:03-3512-1277 E-mail:koeki24yobo@keirin-autorace.or.jp

■相撲の品格～心・技・体～

9月3日(土)14時～15時半 場所：武豊町中央公民館 講師：杉山邦博(元 NHK アナウンサー) 入場無料(どなたでも) 主催：日本福祉大学知多地域同窓会

■第3回 ゆめじろう夏祭り

9月3日(土)18時～ 場所：ゆめじろう特設ステージ じろちゃんコロッケほかおいしいもの、楽しいこといっぱい！ 主催：NPO法人ゆめじろう ☎ 0569-72-2963

■ぷち婚活バーベキュー

9月4日(日)場所：半田運動公園キャンプ場 対象：婚活に意欲的な方(当日入会可) 申込み問合せ ☎ 090-5617-1145 (三ツ井) 主催：NPO法人ぱれっと

■第1回ひだまりまつり

9月4日(日)10時～14時 場所：デイサービスひだまりハウス(春日井市成岩台 10-2-10)模擬店や手打ちそばの実演販売。 主催：NPO法人ワーカーズかすがい ☎ 0568-95-3511 共催：岩成台西地区社会福祉協議会

■第2回 きずなまつり～深めようみんなの絆～

9月10日(土)17時～19時半 雨天決行 場所：地域たすけあいセンター絆 花火や竹と廃油ローソクでつくる幻想的な世界、さをり織り体験等。生ビールやおいしいものいっぱい！ ④車でお越しの際は乗り合わせください。 主催：NPO法人絆 ☎ 0562-83-7563

■邦楽集団 志多ら 和太鼓演奏とあかり15年の歩みとこれから～15年間の感謝をこめて！～

10月16日(日)開場13:30～ 場所：常滑市民文化会館ホール 主催：NPO法人あかり ☎ 0569-35-4185

■遷延性意識障害者と家族の会シンポジウム東海

10月2日(日)13時半～ 場所：ウインクあいち903会議室「遷延性意識障害者の現状とこれから」基調講演、家族の介護状況発表、東海地区家族会員の実態調査報告等 主催：愛知県在宅療養支援診療所連絡会

■環境NGO・NPOのための運営カパワーアップ研修

日程：10/8～1/21(計5回土曜開催)各回10時～16時 場所：池下ピアザ(千種区池下1-11-21-4F) 定員20名 参加費：5回通して2,000円 応募受付：9/26(月)まで 企画実施 問合せ先：NPO法人パートナーシップ・サポートセンター(松橋) ☎ 052-762-0401

■ゆる体操初級(みんなの交流サロン 10月)

10月21日(金)受付18:15～ 場所：クラシティ半田3F 企画運営・問合せ NPO法人ひだまり ☎ 090-8737-9274

■りんりん茶屋 貸します！

時間：月・木曜日 13時半～17時、火・水・金曜日 10時～17時 料金：1時間1,000円(土・日・祝日は要相談) 問合せ先：NPO法人りんりん ☎ 0569-21-3646

■ゆめじろう ボランティアさん募集中！

畑で野菜作りをしてくださる方、サロンでベンチ作り(木工作業)をしてくださる方を募集しています。 問合せ先：NPO法人ゆめじろう ☎ 0569-72-2963

NPO現場見学バスツアー

9月20日(火) 9:30～16:30 定員26人
10月20日(木) 9:30～16:30 定員8人
参加費 5,000円(昼食代別途)



オプションバスツアー常時受付中！
目的に合わせて企画します。(担当:江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743